

議 会

No.277



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電 話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭のごあいさつ



木島平村議会 議長

勝 山 正



明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健康で、希望に満ちた輝かしい初春を迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

さて、本年は、村の第7次総合振興計画2年目となり、さらに歩みを進めていかなければなりません。

私たちが直面している課題は少子化です。単なる経済支援にとどまらず若い世代がこの村に定住し、安心して子育てができる環境、子どもたちが夢を育める環境整備が急務です。地域の集落機能を維持していくためにも、移住や定住に向けた魅力ある村づくりが求められています。

全村一丸となって、村政の発展に一層の創意工夫を重ね、「誰もが希望を持てる持続可能な村づくり」を皆様とともに築き上げてまいりたいと考えております。

一方、道路等交通網整備に目を向けますと、国道403号の蛭川橋から中央橋方面へ拡幅改良工事が進められております。また、県道では西小路の交差点から水穂神社までの間の拡幅改良工事が順次施行されております。道路は地域経済発展や通学路の安全確保のため、一刻も早い工事完了が待ち望まれるところです。

また、姉妹都市盟約を結ぶ調布市の皆様との交流は、文化やスポーツなどを通じて40年間途絶えることなく続いてまいりました。この絆をさらに強め、より多くの交流の輪が広がり、両市村の関係が深まることを願うところです。

村民の皆様への負託と信頼に応えるべく、議会に与えられた使命を達成できるよう、一丸となり日々精進し全力で尽くしてまいりる所存でおります。

結びに、新たな年が、木島平村、そして皆様方にとりまして、ご健勝で実り多き佳き年となりますようご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



議会カフェを開催しました

11月9日に、議会や議員を知っていただく機会、また、様々な方と交流し、話を聞く場として初開催し、13人の村民の方にお越しいただきました。

議会として初めての試みで「やってみないとわからない」と手探りの中での開催となりましたが、下記のとおりさまざまなご意見をいただきました。いただいたご意見は、議員間の共有とし、出された意見を取り上げる必要があるときは、議会全体で協議していくこととしました。



お茶を飲みながら気軽に

いただいたご意見

- ・志のある人が出やすい選挙が理想。現在は敷居が高い。
- ・医学部等への進学には多額な費用がかかるため、奨学金の在り方を検討してほしい。
- ・一般質問で「〇〇についてどう思うか」という質問は、単なる所感を問うのではなく、公益の観点からの見解を引き出す質問展開に。
- ・このような場があったことで話ができた。今後も回数を増やしてほしい。
- ・一人暮らしの高齢者が安心して生活できる対策を。特に冬期間の除雪など。
- ・民生委員のなり手不足が深刻で、一部の地区では区長が兼ねて務めている。同じ方が区長を4回引き受ける地区もあり、人手不足の深刻さと担い手確保の難しさが課題。
- ・子どもが安心して暮らせる安全な村をつくるには、道路などの生活インフラ整備が不可欠。通学路や生活道路の安全対策を進めるとともに、都市部への通勤圏として公共交通を充実させ、村内外の移動の利便性を高める必要がある。これにより、住民の暮らしやすさ向上や定住促進、地域活性化が期待される。
- ・行政と議会は、ともに地域の発展を目指す立場。互いに敬意をもって意見を交わし、より建設的で前向きな対話を重ねていくことが大切だと思う。
- ・広島だけでなく、東北や能登の震災を通じた学びも取り入れることで、より広い視点から「いのち」と「平和」について考える機会になると思う。

～議会カフェのお知らせ～

子育て中の方や学生の皆様のご参加大歓迎です。お子さんも一緒にご参加いただけます。テーマ別に2つのグループに分けて話を伺います。

- ◆日時 2月14日(土) 午後1時30分から3時30分
- ◆場所 保健センター2階 集団指導室
- ◆テーマ ・子育てで思うこと ・村のことで思うこと





令和7年12月第4回定例会

馬曲温泉管理費、堆肥センター運営補助金などを可決

今議会では〔承認案1件、予算案6件、条例案6件、事件案1件〕をすべて承認・可決・同意しました。また、陳情2件を採択し、意見書を提出しました。なお、賛否の分かれた議案は25ページに記載しています。

補正予算



令和7年度 一般会計補正予算(第7号)では5億5,658万円の増額(現総額49億5,042万円)を全会一致で可決しました。主な補正予算を抜粋してお知らせします。(千円以下を四捨五入)

総務課

- ・ 財政管理費積立金 5億円 (※詳細は下段をご覧ください)
- ・ 人事院勧告※に伴う全職員分の人件費 1,600万円 (※30ページ参照)

民生課

- ・ 介護保険特別会計への繰出金(介護給付費等の増額に伴う) 532万円

子育て支援課

- ・ 学校給食 食材費の高騰分 170万円

生涯学習課

- ・ クロスカントリー競技場 圧雪車(中古)リース 130万円

建設課

- ・ 除雪ドーザ購入 3,500万円(含：地方債)
(来年度購入予定を前倒し、有利な地方債に申請)
- ・ ハイツ御殿(旧北部小グランド跡地 集合住宅)
建設費追加(カーポート・物置・管理道路) 701万円
(含：過疎債)

産業課

- ・ 農業振興公社への運営補助金(年度末に実績に応じて追加) 500万円
- ・ 道の駅ファームス木島平 光熱水費の増加 210万円
- ・ ふるさと納税 業務委託料等の追加(取扱い額の増加を想定) 989万円
- ・ 堆肥センター運営補助金の追加(人件費・光熱費の増加に伴う) 600万円
- ・ 馬曲温泉の維持管理費(揚湯ポンプ電気料・警備委託料ほか) 257万円 (※詳細は下段をご覧ください)

減額補正した主な事業は次のとおりです。

- ・ 役場庁舎へのソーラーパネル設置の見送り
(資材等の高騰により) △3,682万円
- ・ 後期高齢者の医療費の村負担分
(医療費が見込みより少なかったため) △679万円
- ・ ルクセンブルク交流旅費の精算
(渡航ルート等変更により) △425万円

※財政管理費の積立金から、なぜ5億円も支出するの？

国や県からの交付金が年度末に入るため、それまでの間に不足する事業費を、いったん村の積立金で立て替えます。交付金が入金された時点で積立金に戻します。

※馬曲温泉は運営をやめても、維持管理費が必要な？

村では現在、サウンディング(民間事業者からの提案)を踏まえ、運営事業者を募集しています。これまでの事業者が12月末に施設を明け渡すため、村が事業継続の可否を判断する3月末までの間は、施設を傷めないための最低限の維持管理が必要となります。そのための予算です。

条例

●ハイツ御殿の入居要件・家賃を決定

「賃貸集合住宅条例」にハイツ御殿（中村・旧北部小学校グラウンド跡地の集合住宅）を追加しました。

子育て世帯優先ですが、単身世帯の入居も可能です。

*ハイツ御殿の家賃（月額・車庫使用料含む）

1階(101号・102号) 37.59㎡ 45,000円

2階(201号・202号) 48.95㎡ 50,000円

●新「こども・子育て基本条例」を制定

こどもの幸せを第一に考える視点をもとに、次代を担うこどもが未来に夢と希望をもち、安心して心豊かに育つことを目的とし、「こどもの権利」や「家庭・学校園・地域社会・事業所・村の役割」などを示しています。

こども基本法の理念に基づき、大人とこどもが心のふれあいをより深めるための「木島平村こども週間」等を定めました。

（4月1日から施行）



事件

カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定について

- ・施設管理 カヤの平高原キャンプ場・運動広場・総合案内所・炊事施設・付帯施設
- ・指定管理者 特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
- ・指定期間 令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間
- ・指定管理料 令和8年度から令和10年度 金額：325万円以内/年額上限



《賛否の分かれた議案の結果》

議案	議員名								採決結果
	関達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山浦登	丸山邦久	江田宏子	山崎栄喜	
カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決

■表の説明：○賛成（起立）、×反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外してあります）

反対

「カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定」に対する討論

丸山邦久 議員

村が示した条件は、1日2名の人員を配置し、時間は午前8時から午後5時までとしている。夜間にキャンプ場やロッジに宿泊者がいても管理者がいない。さらに、カヤの平は携帯電話の電波が届かない。

管理者がいない時に急病人、けが人や死亡者が出た場合、村は管理責任を問われ、議会も承認した責任を問われる。夜間の管理者が不在であれば、キャンプ場やロッジの宿泊施設はクローズすべき。カヤの平高原保健休養施設は来年の4月末までは営業できない。しっかりとの方針を打ち出し、承認を求める議案を再提出することを望む。

賛成

「カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定」に対する討論

山浦登 議員

人員配置については、産業建設常任委員会でも指摘しており、人員確保など運営の準備をしっかりと進めるためには、少しでも早く指定管理者を指定する必要もあると考える。

今回応募された2者それぞれのカヤの平高原に対する企画、思い、情熱は理解できるが、各事業者の来歴、培われてきた経営実績、組織力、資金力、集客力等を総合的に勘案すると提案された事業者が適任と考える。

なお、全国的に熊の出没、被害が頻発しており、運営に当たっては、熊対策、利用者の安全対策には十分配慮されることを望む。

「令和7年9月定例会の審査意見」に対する村の対応

委員会審査の結果で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。(要旨抜粋)

【予算決算常任委員会】

(令和6年度補正予算について)

全課	対応
地域活性化起業人(副業型)の新規採用にあたり、早稲田大学の学生提案の活用や他大学との連携を通じ、関係人口・交流人口の増加につながるよう、より一層、取組みの充実を図られたい。	10月に契約を締結し、早稲田大学地域連携ワークショップのテーマ決めから連携しながら進めている。今後も関係人口、交流人口の拡大につながるよう連携しながら成果につながるよう進めていく。
当初予算の計上漏れによる補正が複数見られた。より慎重に業務を行い、ケアレスミスの防止に努められたい。	令和8年度の予算編成に向け、事業の見直しや確認作業を慎重に行うなど、未計上などのケアレスミスがないよう徹底していく。

(令和7年度一般会計予算について)

全課	対応
各事業の経費が増えている現状がある。各課において課題を先送りせず、真摯に向き合い、職員の知恵や工夫による事業の見直しや改善により、経費の抑制に努められたい。	決算状況の点検、事務事業評価、実施計画などを基に予算編成に向けて事業の見直しや経費の見直しを行い経費の削減に努めていく。
「地域おこし協力隊」は、地域活性化とともに、移住定住の促進を目的とした制度である。効果的に導入している自治体に学び、農業や教育分野など、各課において地域活性化に資する人材の採用に向け、積極的な導入を検討されたい。	地域おこし協力隊の活用は、人材確保の観点、地域活性化の面からも今後も必要な施策と考えている。可能な事業を検討し活用を継続的に進めていく。
建設課	対応
河川内に繁茂した草木の伐採・撤去は、景観や治水機能の維持に加え、熊の被害防止にも資する重要な取組みである。県に対し、積極的に対応を要望されたい。	一級河川樽川、馬曲川、大川の浚渫 ^{しゅんせつ} や雑木処理は、毎年現地確認も行い、県に積極的な対応を要望している。効果的に進められるよう、昨年度から伐採雑木のストックヤードとして村有地の提供など協力体制も強化している。安全・安心を高めるため引き続き要望していく。
「地域公共交通のあり方」の検討は喫緊の課題である。公共ライドシェアの導入や広域連携の可能性も含め、財政負担の軽減に向けた多様な手法について、研究・検討を進められたい。	交通事業者の運転手不足や利用者の減少等の課題も多く、路線バスも含めて広域的な課題整理も必要。交通事業者が行うライドシェア、相乗りタクシーなど試験的な運用も近隣で始まっている。村でも近隣市村や県と連携し、効率性と利便性をある程度確保できるよう引き続き研究し実現に向けて検討していく。

総務課	対応
<p>「調布市派遣職員」の事業において、姉妹都市交流のより一層の拡大・推進を図られたい。併せて、アンテナショップとしての「新鮮屋」のあり方について、早急に検討を進められたい。</p>	<p>姉妹都市交流40周年を迎えさらに交流の進展を図るため、アンテナショップ「新鮮屋」のあり方については現在検討を進めており、早期に方針を出せるよう進めていく。また、調布市派遣職員についてもその役割等併せて検討していく。</p>

産業課	対応
<p>「堆肥センター」については、現施設を長期に維持するほど多額の経費負担を要することから、早急に方針を示し、次の手段に移行できるよう努められたい。</p>	<p>令和8年度までしか耐えられないと判断されているため、8年度に長寿命化工事をし、安定的な堆肥供給を継続していく。新たな堆肥センターの整備は、用地選定が最大の課題である。理解と協力を得ながら慎重かつ丁寧に進める必要がある。用地確保や関係者との協議、臭気対策など含め、10年度を目途に整備方針を策定できるよう検討する。現施設の維持と新施設の検討を並行して進め、早期に次の段階に移行できるよう努める。</p>

<p>「森の再生事業」については、村内外に広く周知・PRを行い、賛同者を増やすことで、誘客や関係人口の拡大につながるよう取り組まれたい。</p>	<p>関係人口の創出や拡大に効果的な取組みと認識している。今後は、観光振興局などと連携し、植樹だけではなく村内観光施設の利用を組み合わせるなど事業の価値を高める取組みを進める。</p>
--	--

<p>「市民農園」については、管理状況や事業効果を精査し、今後のあり方を検討されたい。</p>	<p>利用状況や事業効果を精査し、利用者にとってより使いやすい環境整備や管理体制の改善に取り組み、持続可能で魅力ある市民農園の運営となるよう検討する。</p>
---	---

<p>「観光交流センター」については、会議室の利用緩和など、施設の活用促進に向けたあり方を検討されたい。</p>	<p>施設管理コスト縮減のため、観光交流センターから徒歩圏内にある農村交流館に機能集約し、令和4年度以降は現行の利用方法で運用してきた。今回の指摘を踏まえ、管理コストや安全管理に配慮しつつ、利用しやすい運用の見直しを検討する。</p>
--	---

<p>「カヤの平」の施設運営については、利用者が増えるような対策を講じられたい。</p>	<p>次年度からは新たな指定管理者による体制となる。利用者増加に向けて、関係団体との連携による魅力向上策を検討する。利用者の安全性と快適性を最優先とした施設運営が行われるよう、新たな指定管理者と十分に協議する。</p>
--	---

生涯学習課	対応
<p>ジャンプ台については、安全面の観点からも、廃止も視野に検討されたい。</p>	<p>村内競技関係者等から、ジャンプ競技場の廃止を含め、要望や意見を聞いた。出された要望や意見について更に検討し、関係者と協議を重ねながら早期に一定の方向を定める。</p>

「令和7年12月定例会の審査意見」

委員会に付託された議案について審査し、次の意見をまとめました。
村の対応は、令和8年3月議会の初日に報告されます。

【産業建設常任委員会】

意見1 カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定については、培ってきた経験、ノウハウを生かした運営がカヤの平高原の魅力向上や誘客、雇用の創出につながると期待する。
夜間の安全確保の対応には十分配慮されたい。

【予算決算常任委員会】

意見1 「屋内運動場の修繕費」が計上されているが、公共施設全般について、定期的な点検を実施するとともに、適切な維持管理に努め、安全対策の徹底を図られたい。

意見2 「圧雪車のリース費用」が計上されている。季節備品等については、シーズン終了後のメンテナンスや点検を丁寧に実施し、不備がある場合には、必要な時期に支障を来すことのないよう、適切に対応されたい。また、高額備品の更新にあたっては、リースか購入か、中古か新車かといった選択等について、耐用年数・維持管理費等、長期的な視点で比較検討を行い、慎重に決定されたい。

意見3 「地域おこし協力隊」の募集にあたっては、着任した協力隊が地域に定着できるよう、活動面、任期後の支援を含め、サポート体制の充実を図られたい。

意見4 「農業振興公社への補助金」の増額については、人件費や資材価格の高騰などにより、収益の確保が難しい状況にあると考えられるが、収支改善につながるよう連携を図られたい。

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	審査結果	対応・理由等
陳情第7号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	一部採択	趣旨は理解するが、医療費の増加、介護保険料の負担増などの懸念があるため、「10%」を削除、財源を「国費」として一部文面を修正し、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣あてに意見書を提出しました。
陳情第8号	原子力災害の初動・避難行動の策定を求める陳情	採択	木島平村長あてに意見書を提出しました。

表彰

長野県議会議長会 自治功労者表彰

この度、議会議員に10年以上在職された議員を対象に、町村議会議長会から長年の功績をたたえ、自治功労者表彰が授与されました。本村では勝山議長が表彰されました。

勝山議長は、平成27年に議員に初当選して以来3期目となり、現在は議長として3年目を務めています。



勝山議長

9月定例会以降の議会活動

議会では、定例会以外に、研修や村議会独自の議会活動などを行っています。
9月定例会以降12月定例会までの議会活動についてピックアップして掲載します。

地域活性化起業人（副業型） 園原^{あつし}惇史さんとの懇談（10月2日）

早稲田大学在学中から「わせだいら」のメンバーとして、村と関わってきた経験を生かし、国の制度を活用して、関係人口の創出や地域課題の解決に向けて取り組んでいくこととしています。

村と早稲田大学との連携で行っている「地域連携ワークショップ」にも関わっていただく中で、学生と村をつなぎ、提案の実現に向けた役割に期待したいと思います。



懇談の様子

北信地域議会議員研修会（10月2日）山ノ内町

6市町村議員による年1回の研修会が開催され、78人が参加しました。当日は北信地域振興局の三森和子局長の「人口減少に伴う県・市町村の課題」と題して話を聞きました。この地域の人口は、20年後には3万人が減少する予測です。提案の中では、住民が連携し、くらしのあり方を考えることの大切さ、行政職員の減少を見据え、圏域で業務を行うことが今後の課題であること、雪深い地域の豊かな自然を生かした観光、農業の振興に、県としても力を入れていくことなどを話されました。

学校給食試食会（10月29日）



議会では、学校給食の現状(内容)を知るため、毎年、試食を行っています。

今回の献立は、食文化をテーマにした「ハロウィン給食」で、カボチャを使ったシチューなどが提供されました。

本村では令和7年4月から学校給食を無償化しており、子育て世帯の負担軽減をしています。現在も物価高騰が続く中で、限られた予算の中から、心と体の成長に大切な給食が工夫して提供されていると感じました。

【献立】背割りコッペパン パンプキンシチュー 焼きフランク フレンチサラダ 牛乳

行政視察受入れ（10月31日）

信濃町議会から議長、総務産業常任委員6人が堆肥センターに関する視察のため来村されました。

信濃町議会では、信濃町堆肥センターの課題解決に向けた政策提言をすることを目的に、調査研究を進めています。

本村でも堆肥センターの老朽化など課題があり、施設について担当職員が説明し、互いの状況についても情報交換をしました。



勝山議長から歓迎のあいさつ

長野県地方自治政策課題研修会（11月4日）県庁

県議会主催により県内の県議会議員・市町村長、市町村議員などを対象に直面する政策課題についての講演と意見交換が行われました。「長野版参勤交代で拓く地方創生の未来」と題し、三菱総合研究所主席研究員 松田智生氏による講演がありました。都市と地方の補完関係の強化と関係人口を中心とした循環型の人材交流による先進地事例の紹介、また、ふるさと納税の納税者と生産者の交流による地域活性化の提案がありました。

<その他の議会活動> 北信建設事務所との懇談会（10月21日）
ハラスメント防止動画研修（10月29日）

議会全員協議会

【村からの提出案件】

11月20日

- ・協議事項
 - (1) 財政計画・実施計画について
 - (2) 人事院勧告※に伴う条例改正等について
- ・報告事項
 - (1) 馬曲温泉について
 - (2) カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定について
 - (3) 令和8年度地域再生マネージャー事業補助金交付申請について

※人事院勧告とは

民間企業と国家公務員の給与格差をなくすために法律で定められている制度で、人事院が内閣・国会に向けて「国家公務員の処遇改善の勧告」を行うもの。市町村は、人事院勧告に伴う国や都道府県の動向等を踏まえ、方針を決定する。

【議員間協議】

10月29日

- (1) 一般質問通告内容を村ウェブサイトに掲載することについて
- (2) 議会カフェについて
- (3) 議員報酬の改定に向けて

11月20日

- (1) 議会カフェの反省について
- (2) 議員報酬の改定に向けて
- (3) 令和8年度国内視察研修について

11月28日

- (1) 令和8年度国内視察研修について
- (2) 議員報酬の改定に向けて

各議員の一般質問の項目

12月4日・5日に8人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（2月号）の議会だよりに掲載します。

第1日目（12月4日）

1 山浦 登

- ①村長の政治姿勢を問う
- ②将来に向けた村の財政について
- ③熊出没の対策について
- ④地球温暖化と異常気象対策について
- ⑤村道30号線(スキー場線)の安全対策について

2 山本 隆樹

- ①調布市との更なる交流を
- ②旧第一通学区の高校の存続は

3 丸山 邦久

- ①少子化対策プロジェクトについて
- ②木島平村の農業と観光の振興策について
- ③調布市との姉妹都市提携について

4 関 達夫

- ①木島平型教育で学力向上はできるか
- ②国際交流学習で村の子どもを育てる
- ③区への補助事業等の見直しは
- ④新たな農業生産品目を探し出す

第2日目（12月5日）

1 湯本 行浩

- ①観光・農業振興の手段と目的の政策評価の必要性
- ②最終処分場の将来と早期対策の必要性

2 山崎 栄喜

- ①財政計画について
- ②実施計画について

3 江田 宏子

- ①子育て・教育環境の整備について
- ②地域公共交通(デマンドバス等)のあり方について
- ③財政健全化と地域活性化の取組みについて

4 湯本 直木

- ①新規就農支援策の成果は
- ②熊対策の現状と今後の対策拡充を
- ③保育園児の主食持参の見直しと雇用確保の検討を
- ④重点支援地方交付金の使い道



次回定例会の開催予定

【3月議会定例会】※現時点での予定です。

- 開 会 日 2月27日 (金)
- 一般質問① 3月 5日 (木)
- 一般質問② 3月 6日 (金)
- 閉 会 日 3月17日 (火)

請願・陳情の受付締切日

2月12日 (木) 午後5時
 議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局職員に説明をお願いします。

定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
 次の場所・方法で閲覧できます。

- ・ 役場2階の議会事務局での閲覧 (平日午前8:30～午後5:15)
- ・ 村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の [木島平村議会](#) → [会議録](#)

※12月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでご覧いただけます。

議事を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
 傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。
 また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。
 開会日と閉会日の再放送は、当日の午後7時からです。一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



議会だより編集委員

委員長	江田宏子
副委員長	山本隆樹
委員	山浦登夫
	関達夫
	湯本直木
	湯本行浩

ちょっと
いっぶく

議員の

ひびき

◆昨冬は雪が多く、我が家では雪下ろしを3回行いました。夏は最も暑いと言われ、おまけに雨がほとんど降らず、秋は一転して雨の日が多く、農作物の管理・収穫に大変な一年でした。

本村では、四季折々に、季節によって豊かな表情を見せてくれますが、これからは春と秋が短くなり、ほぼ二季になるといわれます。

これも地球温暖化の影響といわれます。

◆秋には、熊に関するニュースが毎日テレビや新聞で報道されました。

熊の餌のどんぐりが少なかったため、市街地にも出没し、宅地や役場などに入り込むところもあり、過去最多の犠牲者が出ました。

身の危険を気にしながらの散歩や農作業等でした。

◆迎えました新年は、平穏な良い年であることを願うばかりです。

山ちや